

さんさん、きらきら 第10号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和4年6月28日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長 寺田 成広

南陽っ子の心を見つめる教育週間

6月25日の土曜授業より本校の心を見つめる教育週間が始まりました。この日は、たくさんの保護者様に来校していただき、道徳科の授業参観や防災教育、今年度初の学級懇談会、緊急事態発生時の引き渡し訓練を実施しました。



道徳科の授業では、各学年の発達段階に応じた教科書・教材を使用して「考え、議論する道徳」を目指しています。学習場面を他人事としてとらえ、「考えたつむりの道徳」とならないように、担任は学習展開を工夫しています。さらに、友達との意見交換を進めて刺激を受けながら、何となく分かっている道徳的価値を、胸にストンと落ちるようにさせて実践につなげたいと考えています。今後も授業の充実に努めていきます。



防災教育では、南消防署より3名の署員様に来ていただき、昭和57年7月23日に発生した「長崎大水害」の資料映像を視聴しました。浸水した町や破損した眼鏡橋、連続する落雷等の場面によって、大雨の怖さや人々の生活への深刻な影響を感じることができたようです。講話では、避難の仕方として「垂直避難」や「避難所への避難」に加えて、「親類・知人宅への避難」も選択肢としてあることや、土砂災害の前兆として、土砂が流れ始めると臭いが変わったり、上流で倒木・土砂の流れ込みがあると一時的に下流の水位が下がったりすること等を伝えていただきました。



学級懇談会は見えていないのですが、担任の声をまとめると、直接顔を合わせることができ、学年・学級の経営方針を聞いていただく貴重な時間になったと言えるようです。今の感染対応レベルが維持されている間は、懇談会は開催しますので、今後もご参加をお願いします。

引き渡し訓練については、長い時間お待たせし申し訳ございませんでした。確

実な引き渡しを行うようにチェック体制やルートを決めていましたが、緊急事態発生時においてそのような時間がかかるとは危険度が増すことが考えられます。早急に課題を洗い出し、人の動き方や案内の仕方、引受者の確認方法等を見直します。



臨時休業への対応について

6月21日(火)の臨時休業(休校)への対応ありがとうございました。連絡メールが遅くなりご心配・ご迷惑をかけたことは反省しております。すみませんでした。

土砂災害警戒警報(レベル4)は発令されていましたが、市からの避難指示が発令されないため、土井首小学校と連絡を取りながら、対応を合わせました。市内小学校は対応が様々でしたが、登校時の雨の降り方や川の流れの勢い等から、子どもたちの安全確保として妥当だったと考えています。

警戒警報は出ないに越したことはないですが、万が一発令されても、今回同様にご理解とご協力をお願いします。

